

第17回 IVS 技術開発センターシンポジウム プログラム

2019年6月27日 於 NICT 鹿島宇宙技術センター 大会議室

講演時間：15分、質疑・応答：5分(交代時間含む)

10:00, 開会の挨拶

広帯域観測技術・応用セッション 座長：岳藤 一宏

10:05, 関戸 衛 (情報通信研究機構): 小型広帯域 VLBI を使った、イタリアー日本の VLBI 観測 (測地・精密周波数比較)

10:25, 近藤 哲朗 (上海天文台、NICT): 広帯域バンド幅合成 (WBWS) での TEC 推定の現状

10:45, 川口 則幸 (国立天文台) 降雨中での水蒸気検出と相関型ラジオメータ

11:05, 氏原 秀樹 (情報通信研究機構): 広帯域アンテナの開発

11:25, 三好 真 (国立天文台・ジャスミンプロジェクト): 2 m口径・ヘラ絞りアンテナ面三次元測定

11:45, 集合写真撮影 (晴天の場合、34m アンテナ前、雨天の場合、研究本館入り口)

12:05, お昼休み、34 m アンテナ等・施設見学

電波天文学関連セッション 座長：氏原秀樹

13:30 青木 貴弘 (山口大学): 大阪府立大 SPART 10m を用いた 230GHz 国際ミリ波 VLBI 観測

13:50, 寺澤 敏夫 (東大宇宙線研・国立天文台水沢 VLBI 観測所): Crab パルサー：鹿島観測の10年を振り返って

14:10, 藤沢 健太 (山口大学): 大学 VLBI 連携の活動報告

14:30, 小林 秀行 (国立天文台水沢 VLBI 観測所): MWA を用いた bistatic radar による宇宙デブリ探査

14:50, 竹内 央 (JAXA 宇宙科学研究所): DDOR 技術によるはやぶさ2とRyuguの同時軌道決定

15:10-15:30 ポスターセッション

測地学・GGOS セッション 座長：関戸 衛

15:30, 宮原伐折羅 (国土地理院 地理地殻活動研究センター), 大坪俊通・宗包浩志・渡邊俊一・宮崎隆幸・青山雄一・福田洋一・横田裕輔・栗原忍：全球統合測地観測システム -日本の活動と展望-

15:50, 松本 紗歩 (国土地理院測地部宇宙測地課): 石岡測地観測所における VLBI-GNSS コロケーション測量

16:10, 服部晃久 (総合研究大学院大学)、土井浩一郎、青山雄一: 南極・昭和基地 VLBI 観測の現状について

16:30, 高橋 富士信 (横浜国立大学): アジア QZSS/IGSO 測位衛星の太陽合同期生起モニタリング

16:50, 関戸 衛 (情報通信研究機構): IVS TDC の活動報告

17:10, 閉会の挨拶

ポスター発表

1. 小倉 達也 (山口大学大学院 創成科学研究科): 鹿島-日立基線を用いた核融合開始直後に形成される若い HII 領域の大規模 VLBI 探査
2. 米倉 覚則 (茨城大学): 茨城観測局の 10 年を振り返って
3. 高羽 浩 (岐阜大学): 岐阜大 11m 鏡による水メーザー源観測
4. 市川 隆一、氏原秀樹、佐藤晋介、科研費プロジェクト研究グループ (情報通信研究機構): 次世代超高感度ミリ波放射計の開発 (序報)
5. 岳藤 一宏 (情報通信研究機構): 9000km 基線の超広帯域バンド幅合成
6. 岳藤 一宏 (情報通信研究機構): VLBI 的水口グラフィ測定による鹿島 34 m 鏡面調整

シンポジウム集録原稿執筆のお願い

IVS 技術開発センターの集録は、IVS NICT-TDC News として論文集を発行し、国内外の VLBI/測地・天文関連研究機関及び個人に送付しています。集録原稿の提出にご協力をお願いします。

TDC-News URL: <http://www2.nict.go.jp/aeri/sts/stmg/ivstdc/news-index-j.html>

言語: 英語

ページ数: 自由 (3-4 ページ目安)

提出期限: 2019/09/30

ファイル形式: LATEX 形式 (フォーマットの雛形を 研究会の HP に掲載します。) <http://ryuu.nict.go.jp/stmg/ivstdc/sympo160630/index.html> WORD などその他の形式での提出を希望される場合には、個別に相談させてください。

提出先: シンポジウム世話人(関戸、篠塚)宛て E-mail : TDCSymp-loc@ml.nict.go.jp